

海外安全対策情報

1. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 警察当局が発表した2021年度第2四半期(2021年7月～9月)の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪件数は39,397件であり、前年度の第2四半期と比較して3.1%の減となっています。犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人	195件(前年比22.6%増)
強盗	446件(同28.9%減)
強姦	109件(同14.2%減)
未成年への性的暴行	330件(同31.0%減)
麻薬関係	209件(同7.2%増)
暴行	11,637件(同11.9%減)
窃盗	13,466件(同5.1%増)
恐喝	5,653件(同0.3%減)
詐欺	3,402件(同9.4%増)
器物破損	2,670件(同4.2%減)
傷害	943件(同6.3%増)
不法侵入	337件(同43.6%減)
合計	39,397件(同3.1%減)

2021年度第1四半期(2021年4月～6月)の報告と比較し、全体的に犯罪件数は減少しています。また、今回の統計結果によると犯罪件数の合計が前年同期比3.1%減という結果となりました。これは不法侵入の大幅減少が主な要因と考えられるが、不法侵入件数が減少傾向にあるというより、前年度の件数が非常に多かったことによるものである。その他強盗などが減少しているものの、本年1月から9月までは殺人や詐欺などが増加傾向にあり、今後、治安状況が悪化する可能性が十分に考えられますので、皆様におかれましては、外務省海外安全ホームページの「安全対策基礎データ」、「安全の手引き」を参考に防犯対策並びに細心の注意を払ってください。

(2) 一般犯罪(邦人被害)

- ・8月23日(月)20時頃、邦人の車両への車上荒らし及び窃盗被害事案が発生しました。
当該邦人がアクラ市エアポートエリア内のレストランにて食事していたところ、2人組の犯人が路上駐車していた当該邦人の車両後部座席の窓を割り、置いていた現金及び旅券等が入った鞆を奪って逃走したとのことです。
当該邦人に怪我等はありませんでした。

(3) 凶悪犯罪(外国人被害)

- ・8月23日(月)19時頃、イギリス人ジャーナリストに対する武装強盗事案が発生しました。
被害者はタマレーキンタンポ間のハイウェイを車で通行中に、ガーナ人6名から武装強盗に合い、銃で殺害されました。情報では、道路脇の茂みから被害者の車両をめがけて複数発砲し、タイヤの空気を抜いて車両を停止させようとしたところ、その一部が被害者に当たり、死に至ったとのことです。
犯行グループは、停止した車両から携帯電話を含む金品を奪い逃走しましたが、その後、警察との銃撃戦となり、2名が死亡、4名が拘束されました。

2. テロ・爆弾事件発生状況

当国における該当事件の発生は確認されておりません。

3. 誘拐・脅迫事件発生状況

当国における該当事件の発生は確認されておりません。

4. 対日感情

対日感情は基本的に良好であり、特段の変化は見られません。

5. 日本企業の安全に係わる諸問題

当国において日系企業が脅迫、破壊行為等の被害を受けた報告はありません。

以上